



▲優勝を喜ぶ佐賀鉄工所多久BBCチーム

おめでとう佐賀鉄工所多久BBCチーム

西日本軟式野球佐賀県予選優勝

3月24、25、31日に多久市野球場と唐津市野球場で行われた、第34回西日本軟式野球（2部）佐賀県予選兼第43回佐賀県軟式野球連盟会長杯で、多久市代表の佐賀鉄工所多久BBCチームがみごと優勝。6月29日から高知県で開催される全国大会へ出場が決まりました。

この大会は佐賀県軟式野球連盟に登録された2部で、連盟各支部の代表15チームが参加し行

われました。平成20年12月北多久町操業の株式会社佐賀鉄工所多久工場は、平成23年4月から多久市軟式野球連盟に職域チームとして加入。初めての大会で初優勝し、職域チームとしても初めての快挙です。

佐賀鉄工所多久BBCチームは、野球部員21人で、監督の小部正高さんは、「明るく元気よく楽しく、チームワークで頑張ります」と、全国大会出場に向けて、意気込みを語りました。

感謝の気持ちでいっぱいです

東京からの多額のふるさと応援寄附

3月31日に「ふるさと応援寄附」として多額の寄附をいただいた瀧民雄さん（東京都在住）へ、横尾市長より市政功労者表彰状を贈呈しました。

瀧さんは、「西南戦争により不遇な生活を送っていた祖父が、多久で仕事に就き、祖母と出会い生活の基盤を築くことができた。また自分も幼少時は病弱であった母と離れ、多久で過ごしたこともあり、多久に対して感謝の気持ちでいっぱいです」と市長に今回の寄附の想いを伝えられました。

瀧さんは、現在89歳。海軍兵学校を受験したことや、ご学友（多久出身者）のことなどを懐かしく話されました。趣味は、考古学や郷土研究に関する書籍を読むことで、今後は「多久の郷土研究家の方を紹介いただき、多久を訪れているいろいろなところを巡りたい」と楽しみにされていました。



▲横尾市長から市政功労者の表彰状を受け取る瀧さん

多久城下ひなまつり

3/25 ~ 4/1

西溪公園の桜まつりにあわせ、寒鶯亭で開かれた『多久城下ひなまつり』は、絢爛豪華な段飾りから地元保育園児の可愛い手作りおひなさままで数多く飾られ、参観者を魅了しました。「みなさんにほのぼのとした時間をすごしてもらおう」と多久町・西多久町の婦人学級が開いたものです。

手作りのさげもんや帯アートも展示された場内では、琴の演奏も行われ、期間中約1,200人が訪れました。



志田林三郎博士の功績をたどる カイザー陽子さん来市

3/18

志田林三郎博士の曾孫にあたり、現在アメリカボストン在住のカイザー陽子さんらが郷土資料館を訪れ、横尾市長はじめ教育委員会関係者らと会談しました。この会談は、陽子さんが尾形善次郎前郷土資料館長に宛てた手紙が縁で実現したものです。

博士がグラスゴー大学の恩師ケルビン卿に宛てた手紙を陽子さんが翻訳した資料を渡し、学術資料をもとに博士の功績をたどりました。陽子さんが持参された博士の手紙の翻訳は資料として今後郷土資料館で保存されます。

